



脱炭素時代に選ばれるための 脱炭素・サーキュラーエコノミーセミナー

日本の温室効果ガス排出量のうち「資源循環が貢献できる余地がある部門由来の排出量」が約36%に上るとの試算もあり、「サーキュラーエコノミー（循環型経済）」への「移行」は、カーボンニュートラル実現のために重要です。サーキュラーエコノミーは、廃棄物の発生を抑制しながら、再利用を通じて資源を循環させる仕組みです。

「資源消費を抑える」「製品を長く使う」「資源を再生して使う」の3つのアプローチが温室効果ガス排出削減と連動しています。

本セミナーでは①廃棄物を資源にする。②使用後の用途を設計した商品開発の仕組みを創る。③長く使い・捨てない仕組みをつくる。といった資源が当たり前に循環する仕組み創りから、①コスト高への対応策検討、②ライフスタイル提案といった「資源循環が当たり前に流通する仕組み」についてご説明いたします。

CEの実現に資する商品やサービスを提供すれば、それは同時に脱炭素にも大きく繋がり、企業価値の向上につながります。

今回のセミナーでは、脱炭素に向けた経済産業省の政策動向を近畿経済産業局からご説明いただき、大阪府の脱炭素に向けた取組みを説明していただいた後、サーキュラーエコノミーになぜ取り組むべきかについて、OSAKAゼロカーボン・スマートシティ・ファウンデーション（以下 OZCaF）から説明をします。また、CO₂の可視化やSBT取得の重要性についても OZCaF からご説明を致します。

■日時 令和7年 **12月10日（水）14:00～16:00**

■会場 岸和田商工会議所 2階 集会室（〒596-0045 大阪府岸和田市別所町3-13-26）

■内容 1) 脱炭素に向けた経済産業省の政策動向（METI 関西 CN 推進室）

2) 大阪府の脱炭素に向けた取組み（大阪府脱炭素・エネルギー政策課）

3) サーキュラーエコノミーになぜ取り組むべきか？（OZCaF）

4) CO₂可視化やSBT取得の重要性について（OZCaF）

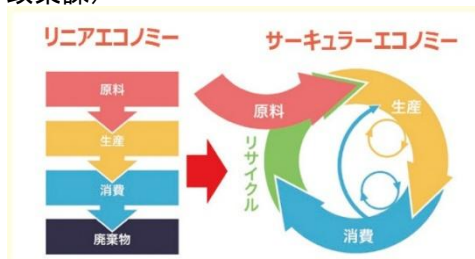
5) 講師との名刺交換会

■定員 約30名

■主催 泉佐野商工会議所・貝塚商工会議所・岸和田商工会議所

■協力 OSAKAゼロカーボン・スマートシティ・ファウンデーション

■問合先 泉佐野商工会議所 担当：山本 072-462-3128 info@izumisano-cci.or.jp

**FAX**

による申し込み

岸和田商工会議所

FAX:072-436-3030

QRコード

による申し込み



脱炭素時代に選ばれるためのサーキュラーエコノミーセミナー 参加申込書

申込日：令和7年 月 日

(ふりがな)	＜お一人目＞	＜お二人目＞
ご氏名		
(ふりがな)		
会社名・屋号	TEL	
ご住所 (営業所)	メール	
所属会議所 ☑をお入れ下さい	☐ 泉佐野商工会議所 ☐ 貝塚商工会議所 ☐ 岸和田商工会議所 ☐ その他・わからない	業種

※ご記入いただきました個人情報は、本セミナー開催における本人確認、名簿作成、連絡、受講者アンケート調査の為にのみ使用いたします。